様式１－３（統一栽培暦様式）

もっと安心農産物 ダイコン（春どり）栽培暦（令和8年度）

JAちばみどり 海上野菜組合産直部

１．土づくり
完熟堆肥2トン／10aを施用するか、エン麦・ギニアグラス・ハブソウを輪作体系として作付けする

２．施肥　☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守　**化学肥料窒素成分使用量7．5kg／10a以下**

基肥は①～③のいずれかを選択する。

	肥料名	施肥量
基肥	①エコレット866（8-6-6　有機態窒素 4．1）	180kg／10a以下
	②マイルドユーキ030（10-13-10 有機態窒素5.3）	140kg／10a以下
	③有機アグレット088（10-8-8 有機態窒素5）	140kg／10a以下
	苦土重焼燐（0-35-0）	40kg／10a
	硫マグ	40kg／10a

３．防除　**化学合成農薬　4成分回数まで**
（カスミンボルドー・Zボルドー・スピノエース顆粒水和剤・エスマルクDFは化学合成農薬に含めない）

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈 倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考（耕種的防除の実施
10月上旬		（キスジノハムシ）（コナガ・ハモグリバエ類）（白さび病）	①ネマトリンエース粒剤	は種前 15～25kg/10a	1回	ネグサレセンチュウ	
10月下旬	は種		②フォース粒剤	は種時 6～9kg/10a	1回	キスジノハムシ	
11月上旬							
中旬	間引き						アブラムシ・キスジノミハムシ防除の為、圃場周辺の除草をする
下旬							
12月上旬			Zボルドー	500倍	―	黒斑細菌病 白さび病	
中旬			カスミンボルドー	1000倍（収穫14日前）	3回	軟腐病 黒斑細菌病 ワッカ症	ｺﾅｶﾞの発生が多い場合はスピノエース顆粒水和剤（3回）2500～5000倍（収穫7日前）エスマルクDF 1000倍発生初期→（但し、収穫前日まで）を散布する
下旬			③アファーム乳剤	1000～2000倍（収穫7日前）	3回	コナガ アオムシ	
			④ハチハチ乳剤	2000倍（収穫30日前）	1回	キスジノミハムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ ナモグリバエ	
			⑤モスピラン顆粒水溶剤	2000倍（収穫14日前）	1回	コナガ	⑦又はグレーシア乳剤 2000～3000倍（収穫7日前まで2回以内）
				2000～4000倍（収穫14日前）		アブラムシ類	
3月上旬	収穫		⑥フェニックス顆粒水和剤	2000～4000倍（収穫7日前）	2回	ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞ コナガ	
中旬							
下旬							

☆みんなで守ろう生産基準